

歩掛参考見積募集要領

次のとおり、思川開発自然環境調査等業務（仮称）に係る歩掛参考見積を募集します。

令和 6 年 12 月 17 日

独立行政法人水資源機構
思川開発建設所
所 長 長谷見 智久

1. 目的

この歩掛参考見積募集は、思川開発建設所で予定している業務発注の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積募集に対してご応募いただくことをもって、業務発注の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありませんので、あらかじめご承知ください。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 5・6 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は、別紙－1 に示す業務内容ごとの作業項目毎に必要な技術者の人数を記載しご提出ください。

参考見積書の様式は問いませんが、作成例（別紙－2）を参考としてください。

- (2) 提出期間

令和 6 年 12 月 26 日（木）から令和 7 年 1 月 10 日（金）までにご提出ください。持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時までをお願いします。

- (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所 所長 長谷見 智久 宛て

【担当】 経理課 古瀬

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

TEL 0289-85-1110

FAX 0289-85-1211

E-Mail omoigawa@bc9.jp

- (4) 提出方法

参考見積書は、上記 3. (3) の担当者へ郵送又は FAX（いずれも社印があること）又はメール（PDF 等）により提出をお願いします。

なお、参考見積書を FAX 又はメールにより提出される場合は発信後、必ず、上記 3. (3) の担当者に電話にてご連絡ください。また、メールにより提出される場合で社印がないものについては、後日郵送又は FAX で社印を押印した書面を提出していただく場合があります。

- (5) 件名
思川開発自然環境調査等業務（仮称）

4. 参考見積内容

- (1) 業務作業項目、作業内容
本参考見積は、別紙－ 1 に示す各作業を実施するための標準的な歩掛とします。
- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、水資源機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
 - ② 参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(1)「業務作業項目、作業内容」を実施するために必要な技術者の人数を徴取します。なお、基準書で定義されている直接経費のうち、上記(1)を実施するために、電子計算機使用料の計上が必要な場合は、参考見積書に「電子計算機使用料＝直接人件費×○%」等を明記してください。
- (3) 技術者の職種と定義
国土交通省が公表している「令和 6 年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合は、次に従い、書面により提出してください。なお、質問書の様式は問いません。

- (1) 提出期間：
令和 6 年 12 月 17 日（火）から令和 6 年 12 月 23 日（月）までにご提出ください。持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時までをお願いします。
- (2) 提出場所：3. (3) と同じ
- (3) 提出方法：3. (4) と同じ

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和 6 年 12 月 25 日（水）から令和 7 年 1 月 10 日（金）まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲示します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせていただきますことがあります。

見積仕様書

業務名：思川開発自然環境調査等業務（仮称）

1. 調査目的

本業務は、「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」に基づき、思川開発事業（南摩ダム等）にかかる試験湛水中のモニタリング調査（「湛水による環境変化の把握」及び「環境保全対策等の効果の確認」）を行うものである。

また、水資源機構（以下、「機構」という。）が主催する「思川開発事業モニタリング部会」にかかる運営補助等を行うものである。

2. 準拠基準

（1）平成 28 年度版河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル【河川版】（平成 28 年 1 月改訂）

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

（2）平成 28 年度版河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル【ダム湖版】（平成 28 年 12 月 一部改訂）

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

（3）令和 6 年度版河川水辺の国勢調査マニュアル【ダム湖版】ダム湖利用実態調査編（令和 6 年 3 月）

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

（4）ダム事業におけるイヌワシ・クマタカの調査方法（改訂版）（平成 21 年 2 月）

（財）ダム水源地環境整備センター

3. 計画準備

業務内容を十分理解し、円滑な業務の遂行ができるよう業務計画書を作成するものとする。

4. 現地踏査

現地調査計画策定に先立ち、現地状況を把握するための踏査を行うものとする。

5. 現地調査計画策定

十分な成果が得られるよう、詳細な調査方法等の検討を行い、現地調査実施時までに現地調査計画を策定するものとする。

6. 希少猛禽類調査

南摩ダム湛水予定区域周辺で生息が確認されているオオタカ及びクマタカの生息・繁殖状況、オオタカ用代替巣の利用状況を確認することを目的として実施する。

（1）調査対象種

オオタカ及びクマタカとする。

（2）調査項目

「定点調査」、「営巣地調査」、「代替巣調査」とする。

（3）調査地区

別添図-1 に示す 4 地区とする。

（4）調査地点数・調査回数等

次表のとおりとする。

調査項目	対象種	調査地区	令和7年										令和8年			備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
定点調査	オオタカ	A地区			○ (1)									○ (1)	1地点×2回＝2地点・回	
		B地区	○ (2)	○ (2)	○ (2)								○ (2)	○ (2)	2地点×5回＝10地点・回	
		C地区	○ (1)		○ (1)								○ (1)	○ (1)	1地点×4回＝4地点・回	
		C' 地区	○ (1)		○ (1)								○ (1)	○ (1)	1地点×4回＝4地点・回	
	クマタカ	B地区		○ (1)			○ (1)	○ (1)						○ (1)	○ (1)	1地点×5回＝5地点・回
営巣地調査	オオタカ	A地区			○											1地区×1回＝ 1 地区・回
		B地区			○											1地区×1回＝ 1 地区・回
		C地区			○											1地区×1回＝ 1 地区・回
		C' 地区			○											1地区×1回＝ 1 地区・回
	クマタカ	B地区						○								1地区×1回＝ 1 地区・回
代替巣調査	オオタカ	B地区				○ (3)										3巣×1回＝3巣・回

※表中の（ ）は、地点数等を示す。

(5) 定点調査

1) 調査内容

各調査定点において定点観察を行い、希少猛禽類の個体数、成幼雌雄、成長段階、推定営巣地、確認時間、個体識別情報、行動場所とその内容、警戒行動等があった場合はその要因の可能性がある事象、その他確認した事項を記録するものとする。調査は、1 定点当たり 1 名で実施することを原則とする。

なお、調査中に観察されたその他の希少猛禽類についても、可能な限り記録するものとする。

2) 調査定点

調査定点は、現地状況や調査結果を考慮し、効果的な調査ができるよう調査定点を設定するものとする。

3) 調査日数及び調査期間

各調査月とも連続 3 日間、調査日ごとの調査時間は 9 時から 16 時までを基本とする。

4) 調査報告

1 日の調査終了後、調査結果の概要（出現状況、指標行動、その他特記事項）を整理し、その日のうちに機構に電話又は電子メール等で速報するものとする。

5) データ整理

現地調査実施状況、確認状況一覧、飛翔軌跡図、特性図（観察時間図、視野範囲図）、成幼雌雄別情報、個体識別情報、時期別行動図、繁殖・採餌・警戒等の行動図、警戒等の推定要因、繁殖状況等に関する資料を作成するものとする。

(6) 営巣地調査

1) 調査内容

定点調査結果を基に、繁殖巣の場所と繁殖成否の特定のため現地踏査を行うものとする。踏査は、安全確保のために複数人で行い、必要に応じて木に登り、巣の状態等の確認を行うものとする。

調査時間は、調査地区ごとに 1 回当たり 3 時間程度までとし、対象とする猛禽類の繁殖に影響を及ぼさないよう留意して実施するものとする。

営巣木の位置、巣の状態、営巣木周辺の痕跡（食痕、羽毛等）、その他確認した事項を記録し、痕跡については採取し同定するものとする。

2) 調査報告

1日の調査終了後、調査結果の概要（営巣情報、その他特記事項）を整理し、その日のうちに機構にメール等で速報するものとする。

3) データ整理

踏査状況、営巣木情報（位置、樹種、幹周等）、繁殖状況、採取痕跡等に関する資料を作成するものとする。

(7) 代替巣調査

1) 調査内容

代替巣を架巢した木に登り、巣の状態、巢内及び周辺の痕跡（食痕、羽毛等）、その他確認した事項を記録し、痕跡（食痕、羽毛）については採取し同定するものとする。また、必要に応じて周辺の枝等を利用した巣の補強や、2箇所での代替巣に設置した監視カメラのレンズ清掃や角度調整などを行い、来シーズン以降の利用に向けて整備しておくものとする。

なお、安全確保のため、調査は複数人で行うものとする。

2) データ整理

巣の状態、利用状況、痕跡、巣の補強結果等を取りまとめるものとする。

なお、とりまとめに当たっては、監視カメラを設置している2箇所の代替巣については、当該カメラの画像も有効に活用するものとする。

7. ムカシヤンマ調査

南摩ダム周辺の湿地におけるムカシヤンマ（幼虫）の生息状況を把握することを目的として実施する。

(1) 調査対象種

ムカシヤンマ（幼虫）とする。

(2) 調査地区

別添図-2に示す6地点（各地点約10m²）とする。

(3) 調査地点数・調査回数等

次表のとおりとする。

調査 地点	令和7年		備考
	6月	8月	
湿地Ⅰ	○	○	1地区×2回=2地区・回
湿地Ⅱ	○	○	(同上)
湿地Ⅲ	○	○	(同上)
湿地Ⅳ	○	○	(同上)
湿地Ⅴ	○	○	(同上)
湿地Ⅵ	○	○	(同上)

(4) 調査内容

1) 調査内容

ムカシヤンマ（幼虫）の個体数、大きさ（体長・頭幅）、翅芽長、雌雄、巣穴の分布、巣穴の直径について計測するとともに、接写により各個体の形体を体長が分かるようにスケールとともに撮影するものとする。個体採集に際しては、個体を傷つけないよう細心の注意を払うものとし、採集が困難な場合は、計測を行わなくともよい。調査後は採集箇所に速やかに戻すとともに、生息場所の巣穴をできるだけ壊さないよう留意するものとする。

また、巣穴の周りの環境（微地形、土壌、水分、水流、植生、上空空間等の定性的情報）、脱皮殻や成虫の有無について記録を行うものとする。

調査は、1 地点につき 2 名で 1 時間程度実施するものとする。

2) データ整理

本調査結果と既往調査結果から、調査地区ごとのムカシヤンマ（幼虫）の生息個体数、確認された幼虫の大きさ、幼虫の生息環境等を整理するものとする。

8. 移植植物調査

南摩ダム湛水予定区域周辺に設置した保全地において、過去に移植（播種を含む。）した植物 21 種類について、移植後の生育状況の調査及びデータ整理を行うものとする。

（1）調査対象種と調査方法

植物群 A（3 種）は個体数確認、植物群 B（18 種）は生育概要記録（生育状況、周囲状況等）とする。また、各調査に合わせて、生育地の除草や落葉の除去など、望ましいと考えられる軽易な維持作業を行うものとする。

（2）調査地区

別添図-3 に示す南摩ダム湛水予定区域周辺に整備した環境保全地 2 地区とする。

なお、上記環境保全地のうち調査対象種が生育している群落は、1 種当たり概ね 20m² を想定している。

（3）調査時期・調査回数

対象種別の調査時期については次表を想定しており、各月 1 回調査を予定している。

調査月	対象種	
	植物群 A	植物群 B
4 月	・オオヤマカタバミ ・オオタマツリスゲ	・ヒカゲツツジ ・クロヒナスゲ
5 月	・ヒイラギソウ	・カザグルマ ・オオハング ・シラン ・キジカクシ ・エビネ
6 月		・ヤワタソウ ・ジガバチソウ ・ハングショウ ・キンセイラン
8 月		・シノブ ・スエコザサ ・ミヤマクマザサ sp. ・ムカゴサイシン
10 月		・トキホコリ ・オオヒキヨモギ
3 月		・セツブンソウ

（4）データ整理

本調査結果と既往調査結果から、移植植物の現況や活着等の変化を整理するものとする。

9. 水源地域動態調査

貯水池周辺の社会環境を維持・促進するための基礎資料を得るため、ダム及び周辺地域の社会動態状況を把握することを目的として実施する。

（1）対象範囲

南摩ダム湛水予定区域及びその周辺とする。

（2）調査方法

水源地域市町村の人口・産業等の社会動態について、国勢調査、県統計資料等の統計資料を収集整理するとともに、必要に応じて、聞き取り調査、機構からの提供デ

ータ（視察対応状況、ダムカード配布状況）等から推定するものとする。

(3) 調査回数

1 回とする。

10. 思川開発事業モニタリング部会対応

思川開発建設所が開催する思川開発事業モニタリング部会（以下、「部会」という。）（令和 8 年 2 月開催予定）において使用する資料を作成するとともに、部会の運営補助等を行うものとする。

(1) 部会資料作成

本業務で実施した各種調査結果とその他業務等で実施した調査結果等を基に、部会資料を作成するものとする。資料は、別表に示す調査項目ごとに構成して作成するものとし、概要版（説明用 ppt）もあわせて作成するものとする。

(2) 事前説明補助

部会委員 10 名への部会資料の事前説明（令和 7 年 12 月予定、委員 1 名当たり 1 回を予定）に同席（WEB 参加可）して説明の補助を行うとともに、議事内容を記録するものとする。

なお、事前説明会場の借料や委員への謝金、交通費の支払いは、本業務に含まない。

(3) 部会運営補助

部会の議事進行の補助や、審議内容の記録（速記録作成含む）等の運営補助を行うものとする。また、部会開催後は、速やかに議事要旨を作成するものとする。

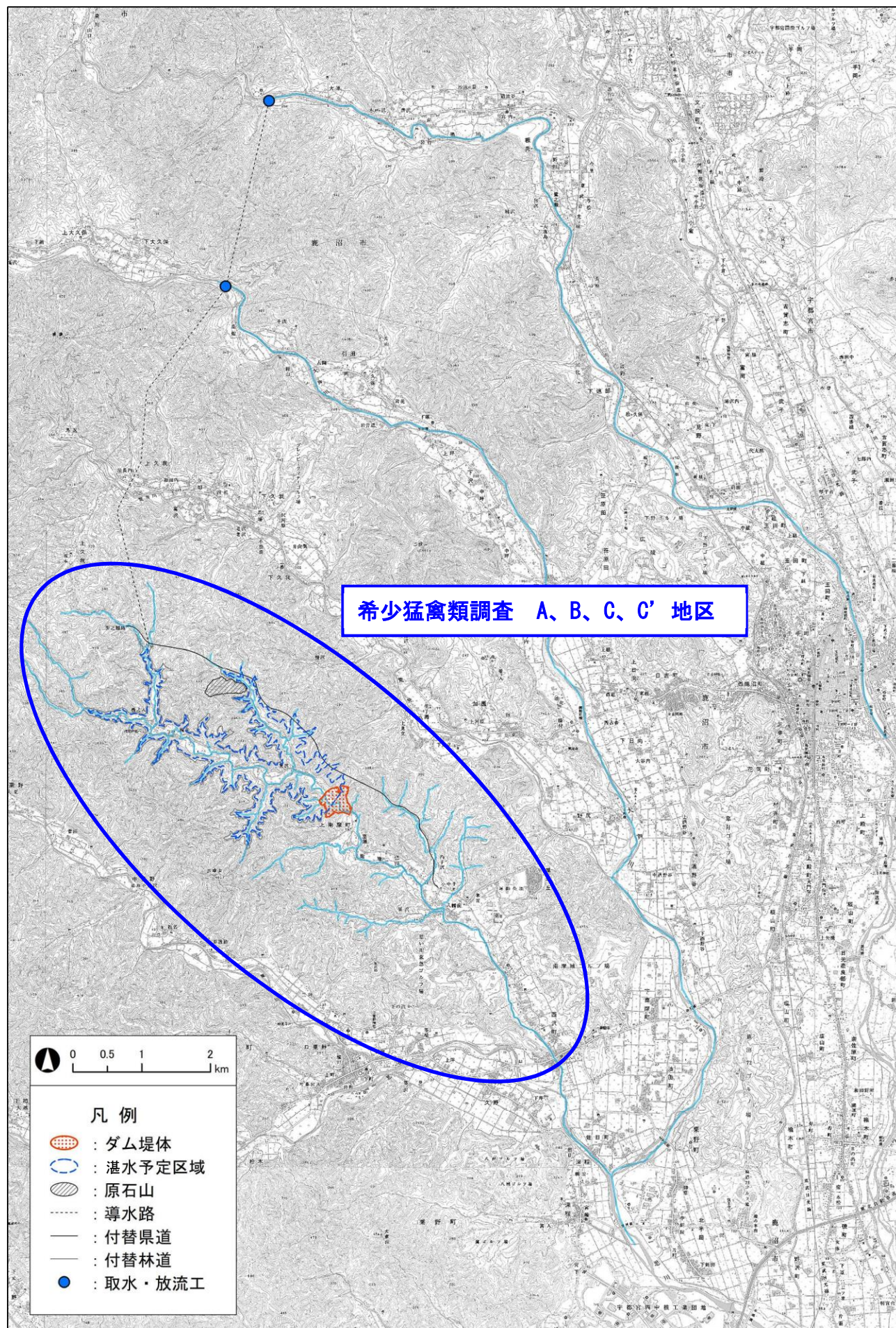
なお、部会会場の借料や委員への謝金、交通費の支払いは、本業務に含まない。

11. 報告書作成

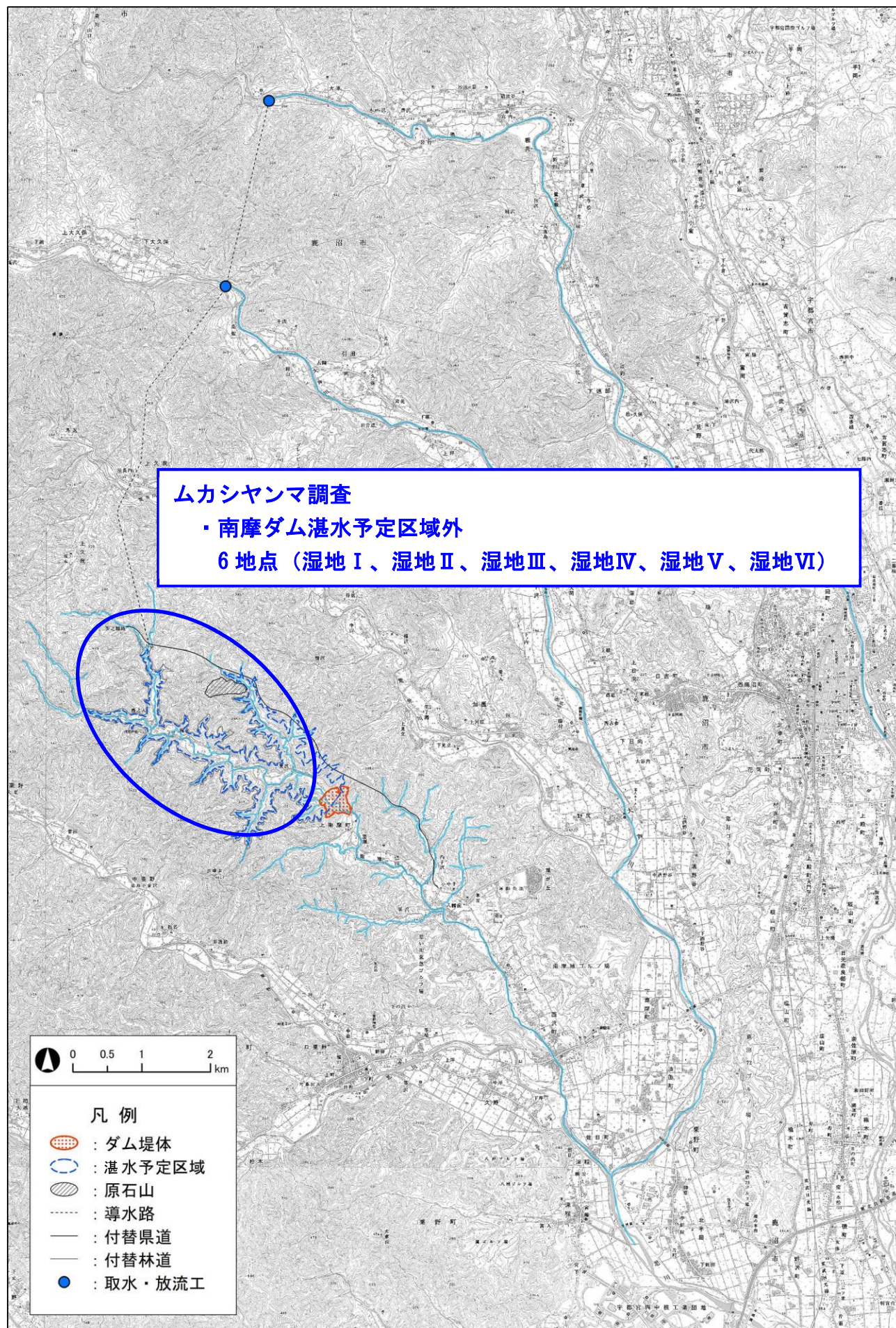
本業務の成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。

以 上

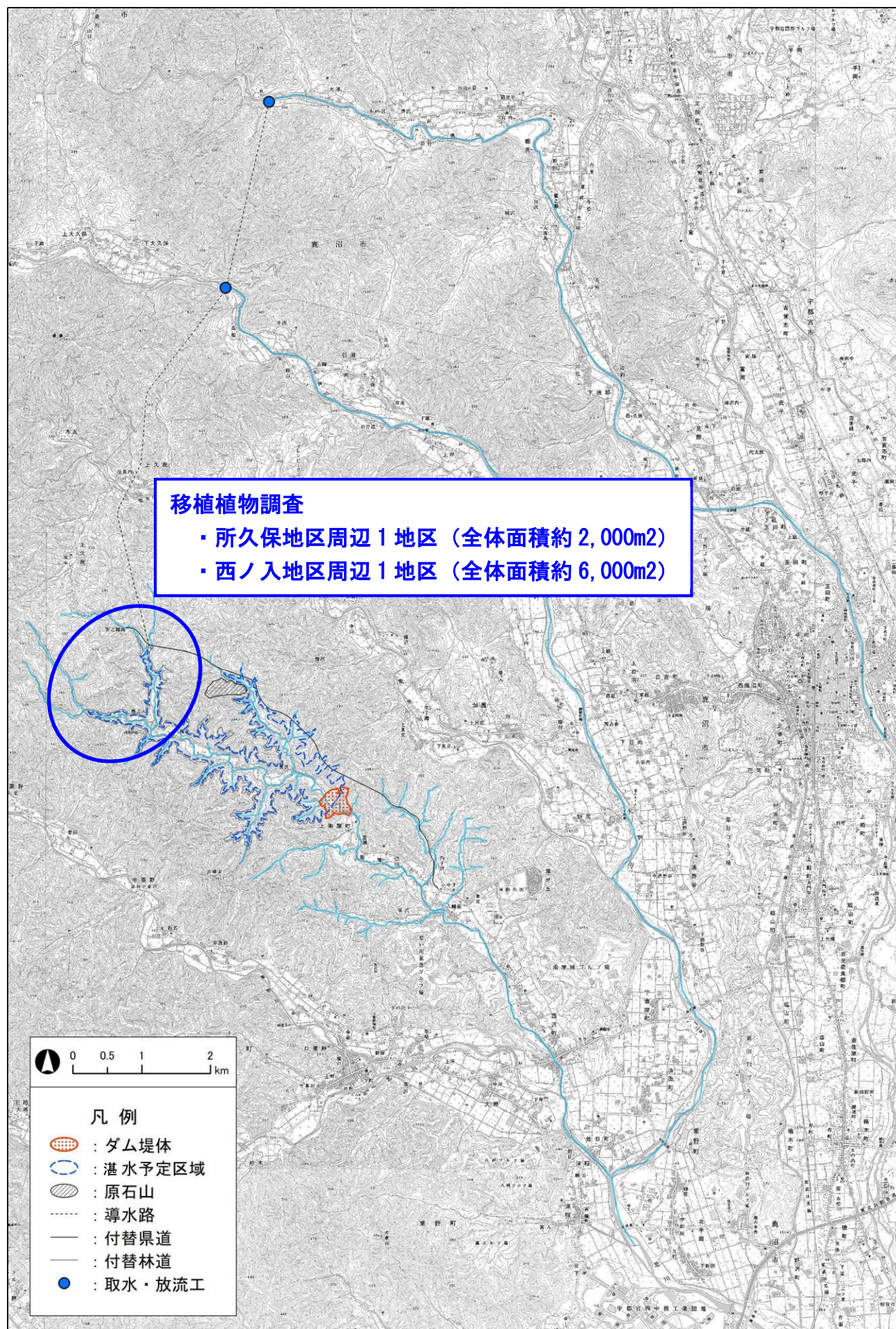
別添図-1 希少猛禽類調査地区位置図



別添図-2 ムカシヤンマ調査地点位置図



別添図-3 移植植物調査地区位置図



別表

南摩ダムモニタリング部会資料 調査項目（案）

区分			調査項目	調査目的	備考
環境保全対策の効果の確認	水質	基本調査	定期水質調査	水質等の状況を定期的に調査し、その実態を経年的に把握	別業務で調査を実施。
			水質自動観測		発注者より提供するデータの整理を実施。
			導水時調査	導水時における水質把握	別業務で調査を実施。
			送水時調査	送水時における水質把握	(同上)
			出水時調査	出水時における水質把握	出水状況に応じ、発注者より提供するデータの整理を指示する場合がある。
			試験湛水時調査	試験湛水時における水質把握	別業務で調査を実施。
		詳細調査	特異現象発生時調査	特異現象発生時の詳細を把握	(同上)
			水質保全設備管理運用調査	水質保全対策（選択取水設備）の効果確認	発注者より提供するデータの整理を実施。
	地下水	地下水調査（取水・導水域）	導水路工事及び導水路の運用による導水路周辺の水文環境への影響の把握	別業務で調査を実施。	
	希少猛禽類	オオタカ等の繁殖状況調査	オオタカ等希少猛禽類の繁殖状況の把握	本業務で調査を実施。	
	ムカシヤンマ	幼虫の生息確認調査	移植したムカシヤンマの生息状況の把握	(同上)	
	希少植物	移植後の生育状況調査	移植した希少植物の生息状況の把握	(同上)	
	景観	写真撮影	二股山からの眺望景観の確認	本業務（今年度）対象外。	
環境保全地	環境保全地調査（動植物）	環境保全地整備後の動植物の生息・生育状況の把握	(同上)		
湛水による環境変化の把握	水文環境	地下水調査（下流域）	導水・送水運用による下流域の水文環境への影響の把握	別業務で調査を実施。	
	相調査	魚類調査	ダム湖及びその周辺、流入・下流河川の動植物の生息・生育状況の変化の確認	出水やダムの湛水状況に応じ、本業務で実施を指示する場合がある。	
		底生動物		本業務（今年度）対象外。	
		動植物プランクトン		(同上)	
		植物		(同上)	
		鳥類		(同上)	
		両生類・爬虫類・哺乳類		(同上)	
		陸上昆虫類調査		(同上)	
		付着藻類調査		(同上)	
	生息・生育基盤調査	ダム湖環境基図作成調査	ダム湖及びその周辺、流入・下流河川の動植物の生息・生育基盤の変化の確認	(同上)	
		下流物理環境調査		(同上)	
事業効果の把握等	洪水調節実績の整理	ダム事業による効果の確認	(同上)		
	利水補給実績の整理		(同上)		
	堆砂状況調査	堆砂状況の把握	(同上)		
	水源地域動態調査	ダム貯水池周辺の利用状況等を確認	本業務で調査を実施。		
	ダム湖利用実態調査		出水やダムの湛水状況に応じ、本業務で実施を指示する場合がある。		

歩掛参考見積書参考様式（件名：思川開発自然環境調査等業務（仮称））

単位：人

項目		見積 単位	見積 数量	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
計画準備		式	1						
現地踏査		式	1						
現地調査計画策定		式	1						
希少猛禽類調査	定点調査	地点・回	1						計25地点・回
	データ整理	地点・回	1						(同上)
	営巣地調査	地区・回	1						計5地区・回
	データ整理	地区・回	1						(同上)
	代替巣調査	巣・回	1						計3巣・回
	データ整理	巣・回	1						(同上)
ムカシヤンマ調査	ムカシヤンマ調査	地点・回	1						計12地点・回
	データ整理	地点・回	1						(同上)
移植植物調査	現地調査	式	1						
	データ整理	式	1						
水源地域動態調査		式	1						
思川開発事業モニタリング部会対応	部会資料作成	式	1						
	事前説明補助	回	1						計10回
	部会運営補助	式	1						
報告書作成		式	1						

※上表はあくまでも参考です。計上する技術者は、適宜追加・削除の上、歩掛参考見積書を作成してください。